

事務連絡

平成31年2月28日

一般社団法人全国賃貸不動産管理業協会 殿

経済産業省産業保安グループガス安全室

賃貸アパート等における埋設ガス管等の耐震化の推進について（依頼）

賃貸アパート、賃貸マンション（以下、「賃貸アパート等」という。）は、建物規模が大きく、地震等により倒壊等が起きた場合、周辺の地域にも影響を及ぼす恐れがあることから、国民の生命・財産を守るため、都道府県や市区町村等による耐震診断・耐震改修の補助事業が実施されるなど国・自治体・民間機関が協働して、賃貸アパート等の耐震化の促進に取り組まれているところであります。

しかしながら、賃貸アパート等の敷地内に埋設されている30年程度経過した古いガス管は、鋼製のものが大部分を占めており、年数の経過や土壌環境等に伴い腐食が進行していると推測しています。このような腐食したガス管が強い地震を受けた場合、継手部分「ねじ継手」が緩んだり、その他の腐食した部分が折れたりして、火災や爆発が生じる恐れがあります。ガス事業者からの報告によりますと、多くの賃貸アパート等のオーナー、管理者等の御理解と御協力によって、数多くの埋設ガス管の改修が実施される一方で、現時点にあっても、全国で数多くの賃貸アパート等に古い埋設ガス導管が残存している可能性があり、いまだガス漏えいリスクを回避できていない状況にあります。

現在、政府は、平成26年6月3日に閣議決定した国土強靱化基本計画に基づき、府省横断的に国土の強靱化に向けた取組を総合的かつ強力に推進しています。具体的な取組は、国土強靱化アクションプラン2018を踏まえ、地方公共団体や民間とも連携した国土強靱化地域計画（地域強靱化計画）の策定等により、進められています。

つきましては、貴協会の会員であります事業者を通じて、賃貸アパート等のオーナー、管理者等に対し、災害に強い賃貸アパート等づくりを進めていただくため、建物等の耐震化を推進するとともに、鋼製のガス管を耐食性、耐震性に優れたポリエチレン管に更新し、埋設ガス管の耐震化を推進していただくよう、御連絡をお願いいたします。

（本件照会先）

経済産業省産業保安グループガス安全室

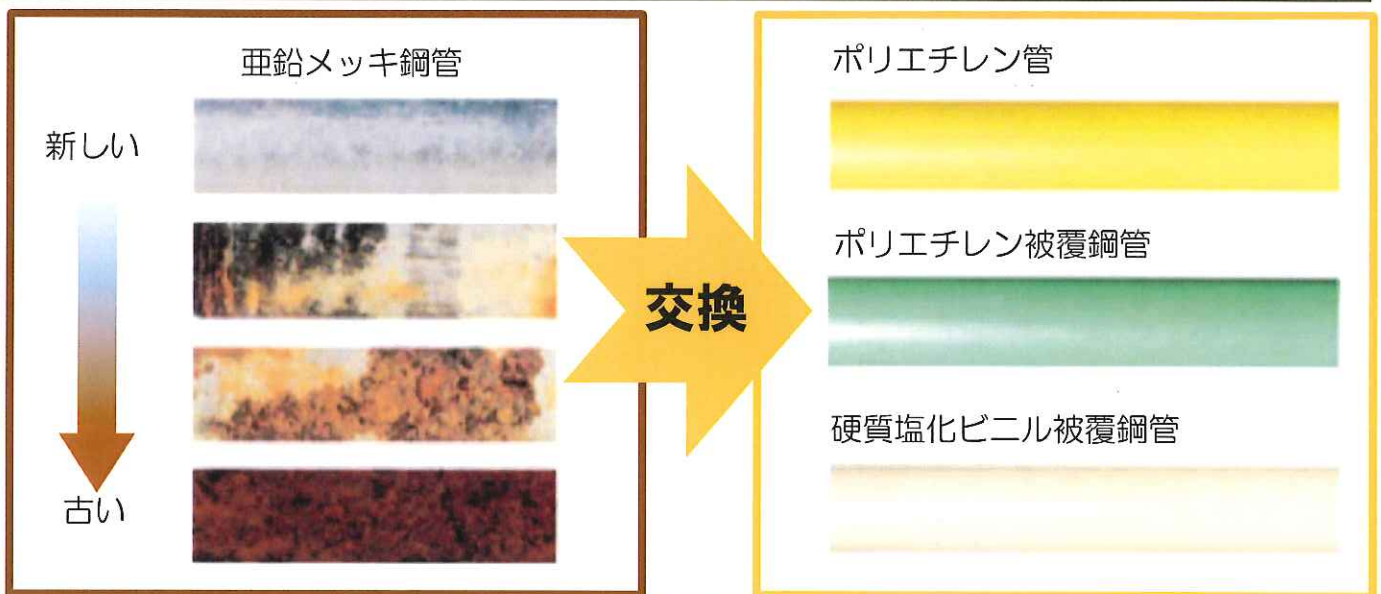
担当：義経、志村

電話：03-3501-4032

# マンション・アパートの敷地内に埋められている 古くなった「ガス管」は大丈夫ですか？

- ◆ 土の中に埋まっているガス管（亜鉛メッキ鋼管〔通称 白ガス管〕）は、古くなって腐食が進むとガスが漏れる恐れがあります。
- ◆ 安心して都市ガスをご利用いただくために、腐食に強いポリエチレン管などに交換しましょう。

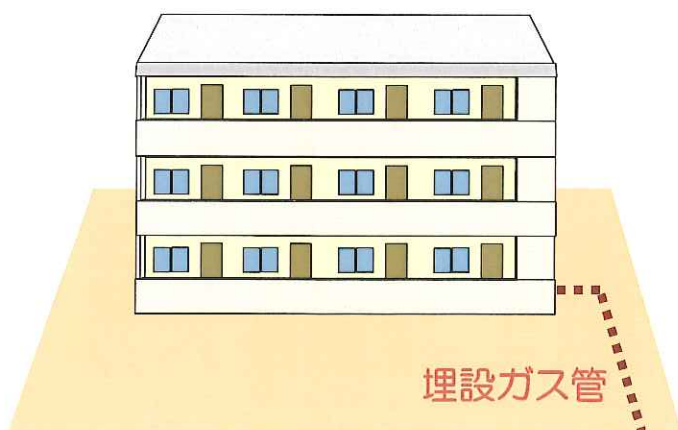
□ 目に見えない土の中で、ガス管の腐食が進行している可能性があります。



※平成8年1月の告示改正により、ガス管の漏洩防止対策として、現在は塗覆層のない鋼製ガス管の新規埋設は禁止されています。

□ ポリエチレン管は、耐食性、耐震性に優れており、東北地方太平洋沖地震、熊本地震、大阪北部地震においてもガス漏れは発生しませんでした。

□ ガス管の交換に際して



- ガス管の敷設状況の詳細を確認する場合は、御利用の都市ガス事業者にお問い合わせください。
- ガス管の敷設状況により工事費、工事期間は異なりますので、まずは、御利用の都市ガス事業者にお問い合わせください。

□ 問合せ先  
経済産業省 産業保安グループ  
ガス安全室 担当: 義経、志村  
TEL: 03-3501-4032(直通)

# 【参考】経年埋設内管の腐食状況 (マンション・アパートの例)



○埋設年数 : 45年  
○所在地 : 三重県



○埋設年数 : 43年  
○所在地 : 東京都



○埋設年数 : 41年  
○所在地 : 東京都



○埋設年数 : 41年  
○所在地 : 大阪府



○埋設年数 : 40年  
○所在地 : 徳島県



○埋設年数 : 38年  
○所在地 : 北海道



○埋設年数 : 50年  
○所在地 : 広島県



○埋設年数 : 40年  
○所在地 : 香川県